

本誌は、東海大学札幌キャンパス地域研究グループの学生たちによる取材・編集で制作している、南区を楽しむ地域フリーペーパーです。

気持ちを伝えるギフト



特別な彩りを贈ろう ————— 01

シゼンド・フローレ / 百々屋

忙しいあなたとキャンプへ ————— 02

定山渓自然の村

南区ギフトBOX ————— 03・04

ラベンダーバレー / しまくま堂 / WAKKA / 藤野ワイナリー

幸せのおすそわけ ————— 05

CAFÉ de ROMAN / J・glacée / あいあん

六花文庫 ————— 06

南区VR ————— 07

今日はおやきの日 ————— 02-06

ピアハーブ

想いをブーケに込めて



いつの時代も花は、特別な想いを繋げる贈り物とされてきた。お花屋さんはその想いをカタチにするお手伝いをしてくれる。お花屋さんにはしかできない、人を一瞬で感動させるフラワーギフトは、贈つても、もらつても幸せな気持ちになる。

私は、花が好きなおばあちゃんに贈る花束を買いに出かけた。そこは、活き活きとした生花と気さくな店員さんが迎えてくれるお花屋さん「シゼンド・フローレ」。創業31年の老舗である。店主では色鮮やかな切り花が販売され、普段使いだけではなくギフトとしてのアレンジメントなども扱う。

特別な彩りを贈ろう

世界に一つだけ

「いつもと違うフラワーギフトを贈りたい」と思ったことはあるだろうか。最近流行っているフラワーギフトが「ハーバリウム」だ。ドライフラワー やプリザーブドフラワーを専用の液に浸すことにより、長く花を楽しむことができる。そんなハーバリウムを手作りできるお花屋さんをみつけた。

そこは、住宅街ということを忘れてしまいそうな程、素敵な空間が広がるお花屋さん「Green art 百々屋」。切り花、ドライフラワー、アレンジメント、花苗、樹木、さらに普通の花屋ではあまり見かけることのない多肉植物や観葉植物など幅広く取り扱っている。オリジナリティあふれる独創的な

注文を受けることが多いという。

また、不定期にワークショップを開いており、これから季節にオススメなのは透明感があり、より花が美しく見えるハーバリウム作りだ。室内にスペースで飾ることができ、みずみずしい姿を保つことができるので、ゆっくりと花に込められた贈り手の気持ちを受け止めることができる。ハーバリウムだけではなく、切り花では出せない魅力のあるドライフラワーのリース作りもある。世界にたった一つの特別な手作りのフラワーギフトを贈りたいときには是非訪ねてみてはどうだろうか。

(文 洞内優希／写真 鐘下拓人、佐々木夕夏)



たまたま入荷していたレアなパクチーの花

（文 洞内優希／写真 鐘下拓人、佐々木夕夏）

Green art 百々屋
札幌市南区真駒内柏丘8丁目3-10
問い合わせ 011-581-8577
営業時間 10:00~18:00
定休日 日曜・月曜



シゼンド・フローレ
札幌市南区川沿4条3丁目2-11
問い合わせ 011-572-4587
営業時間 9:30~18:30
定休日 日曜



特別なひと時をあなたに

「素敵な場所に連れてきてくれてありがとう」。こんな言葉をかけられたことはあるだろうか。思い出は形としては残らないが、記憶に一生残るギフトになる。そんなギフトを贈つてみた。

私は、日々の課題に追われて疲れている友達がいる。その友達は大学に入学してからいつも一緒にいる4人組のうちの1人だ。その友達に「何かしてあげたい」と考えていた。疲れにはリフレッシュが必要不可欠。そこで他2人の友達と特別な1日をプレゼントするため、キャンプの計画を立てた。

向かった先は札幌市定山渓自然の村。キャンプ初心者でも気軽に泊まれることで評判の野外教育施設だ。そこは、鳥や虫の声、風の音をいつもより感じる場所だった。しかし、夜になれば一変。真っ暗な森の中から夜空に輝くたくさん星がはつきりと見え、美しさに吸い込まれるように感じた。

星空の下、たき火を見るだけでなく、りんごやマシュマロなどを串に刺して焼いて食べた。「この果物、焼いたら美味しくなるんじゃない?」「これと組み合わせてみよう」。こうしたオリジナルを試すことが楽しかった。日常では決してできなかったき火は、日々の

忙しさを忘れさせ、癒しをくれる特別なひと時だった。寝る支度をしていると「あつという間だったね」「一日楽しかったね」とその日の話で持ちきりだった。

これまでにない朝食を

朝は、鳥のさえずりで目が覚めた。

私たちは1日目を楽しみすぎて寝不足だった。しかし、その眠気を吹き飛ばしたのが石窯で焼く手作りピザだ。石窯は元々施設にあるので、食材があれば焼くことができる。朝から石窯を使つてピザ作りをするなんてそういう体験だろう。普段なら簡単に済ませてしまう朝食も友達となら。大変なことだが楽しみに変わった。ピザは、チーズ、トマト、ウインナー、ケチャップなど色とりどり。焼き上がりをドキドキ待ち遠しく見つめていた。「でき

た!」ピザができると4人ですぐに食べ始めた。「焼きたてのピザ、おいしい」「このピザを作った人センスある」と盛り上がった。熱々のピザは外がカリッと焼け、チーズがとろけて口の中に広がった。こうして友達と朝のさわやかな空気の中での朝食タイムは、リラックスでき、キャンプでしか味わうことのできない特別なひと時になつた。キャンプは、自然に包まれ、心が落ち着く。帰る頃になると友達もキャンプに行く前とは違つて、表情が明るくなっていた。きっと自然が癒してくれたのだろう。別れ際、友達は「素敵なお場所に連れてきてくれてありがとう。また行こうね」と私たちにいった。思いがけず友達から最高のギフトをもらつた。

(文 佐藤文香 / 写真 湯浅琴音)



定山渓自然の村

札幌市南区定山渓
(豊平峡ダム下流国有林野)
問い合わせ 011-598-3100
受付時間 9:00~17:00
定休日 無休



ギフト特集、今回は真駒内駅セブンイレブン横にある、「ピアハーブ 真駒内5号店」さんのおやきを特集しました。

南区ギフトBOX

南区で見つけよう、想いが伝わる食 ギフト、選んで楽しいモノギフト。

※価格は全て税込です。

さつまいもドーナツ 120円
チョコドーナツ 150円

紅茶クッキー
180円

hokkaido komekono oyatsu

WAKKA

米粉の魅力を広めたい

「アレルギーの子もそうでない子も同じようにおいしいお菓子を食べさせたい」。そう話すのはこの店のオーナー辻さん。ここは小麦粉と卵を一切使用せず、米粉を使つたお菓子を提供するお店、WAKKA(ワッカ)。息子さんが小麦粉と卵のアレルギーだとわかる辻さんは米粉に着目、この店を開いた。ドーナツの輪と人と人の輪というのが由来である。

オーナーであり、母である辻さんならではの心遣いや、お店が人と人を繋ぐ「輪つか」になればいいなという思いが、店内にはたくさんちりばめられている。子連れのお客様が来店しやすいうようにオムツ替えスペースやキッズスペースなど、親子共に良い時間を過ごせる空間がここにある。

お店の一番人気はやはりドーナツ。揚げたコロコロドーナツや様々な種類の味が楽しめる焼きドーナツなど。また米粉を使いホロッとした食感を感じられるたくさんのクッキーも。つい手にとつてしまふものばかりだ。

親から子へ贈るギフト。体に優しい素材ばかりを使い、相手を想う心あたたまるギフト。日々の生活に米粉の優しさを贈るのはいかが。

(文 佐藤花季 / 写真 関夏美)

hokkaido komekono oyatsu
WAKKA
札幌市南区澄川5条3丁目3-57
問い合わせ 011-839-3362
営業時間 11:00~16:00
定休日 日~水曜(不定休)



ドーナツ 120円~
クッキー 180円~
お取り置き可
お好きな予算でギフトセット
お作りします

蕪(クヴェヴリ)ケルナー 2016
500ml 3,780円

藤野ワイナリー

体に優しい、自然派ワイン

「今年はどんなワインができるか想像しながら、ぶどう造りが楽しい」。そう語るのはワイナリーの共同オーナーの伊興部(いよべ)淑恵さん。藤野ワイナリーは葡萄もワインも極力自然の力に任せて造る。発酵のために使用する酵母も葡萄に付着している天然酵母。葡萄を絞る際はゆっくり優しく絞り、ろ過はせず濁りがある。これによつて微生物の働きで旨みができる。こうして体に優しい自然派ワインが出来上がる。

北海道初、素焼きの甕(かめ)で造つたワインにも注目だ。赤ワインは発色の鮮やかな紫、白ワインは不思議なことにオレンジ色に。ワインの発祥地と言われるジョージア(旧グルジア)のクヴェヴリ製法で造られたものだ。醸造担当の浦本さんも初めての試みで、現在出荷されているワインは2年前の2016年に仕込んだもの。選果した葡萄を全房のまま、茎や果皮、種を入れたまま甕に仕込む。その甕を土に埋めて温度を安定させ熟成を待つ。出来上がつたワインの飲み口は非常に滑らかで、ボディはしつかりとしており、ワインの奥深さを感じる。

お祝いの席や仲間同士で、藤野ワイナリーのワイン造りの情熱に想いをはせながら、ワインを飲むのも素敵な思い出になりそうだ。

(文 西村遥奈 / 写真 関夏美、富樫百合)

藤野ワイナリー
札幌市南区藤野670-1
問い合わせ 011-593-8700
営業時間 11:00~18:00
定休日 火曜
HPで販売有



KOHARU 2,160円
イチゴやハーブを思わせる香りに、クランベリーのような酸味がある辛口ロゼ。

ナイヤガラ ナチュラルスパークリング 白 2017 1,944円
ランの花を思わせる甘い香りに、柑橘系のさわやかな酸味とほろ苦さが泡とともに広がる。

蕪(クヴェヴリ)ヤマブドウ 2016
500ml 3,780円

たった70円だけど、おやき1つ買うのも考える今…。大丈夫かなぁ今月の生活。

石けんのギフトセット
3,600円



ココロも潤う贈り物

蜜の誘惑
1,030円

南沢の住宅街の一角、色とりどりのお花が咲いているお家が、日曜日だけ石けん屋さんに姿を変えるのをご存知だろうか。可愛らしい小さな看板が目印、手作り石けんのラベンダーバレード。肌が弱く市販の洗顔料がどれも合わなかつたため、石けんを作り始めたという店主の高橋さん。「材料は絶対に妥協しない。そこを妥協したら、市販のものと変わらない。それなら私が作る必要がない」。その言葉からわかるように、ラベンダーバレーの石けんは、化学成分を使わず、自然由来の材料を厳選し、とことんこだわって作られている。材料の質に納得がいかないときは、それを使う石けんは作らないほどだ。さらに、美容成分をたっぷり残すため、半年もの長い時間をかけて石けんを乾燥・熟成させている。

ラベンダーバレー

また、お客様とのつながりも印象的だ。ラベンダーバレーの石けんを愛用しているたくさんのお客さんたちから「momoママさん」と呼ばれ慕われている高橋さん。日曜日にはお客様が集まり、ゆっくりお茶を飲みながらおしゃべりをする。そんな素敵なお係だ。

ラベンダーバレーでは、相談しながら希望に合つた石けんを選んでもらえる。自身もラベンダーバレーの石けんで洗顔して肌が改善した。まずは自分で使って効果を実感してから、周りの人にもぜひ贈つてほしい。

(文 溝口みのり / 写真 佐々木夕夏)

ラベンダーバレー
札幌市南区南沢6条2丁目2-3
問い合わせ 080-1292-7823
営業時間 11:00~16:00
毎週日曜営業
HPで販売有



単品 1,030円~
ギフトセット 3,600円
ネット注文の場合別途送料
5,000円以上で購入特典有

輝きの明日
1,030円

秘密の宝箱

「しまくま堂」を初めて訪れる人の90%以上は必ず道に迷う。簾舞の山あいに密かに建つ板張りの古民家。ここはハンガリーやチエコなど東ヨーロッパのフォーケロアな手芸用品やヴィンテージ雑貨のお店。

おばあちゃんの家のような懐かしい雰囲気の店内には、あぶれんばかりの雑貨の数々が所狭しとディスプレイされている。可愛らしい人形や絵本、ボタンや生地など、秘密の宝箱の中に入つてしまつたような不思議な感覚に陥ることだろう。

「お店を始めたきっかけは、旅や雑貨が大好きだったから」と話す金野さんは、古着や雑貨はもちろん、コレクションしていた切手のデザインの素晴らしさから、もともと東ヨーロッパには興味を持つていたそう。今では年に数回、何か国も巡りごつそりと掘り出し物を見つけてくる。チエコスロバキア時代やソビエト時代の食器などのデザインには、日本の昭和レトロに通じる懐かしさがある。

「しまくま堂」はネットでの販売にも力を入れており、とても見やすくデザインされたHPからも商品の購入ができる。でも、迷うこと覚悟でぜひこの秘密の宝箱のようなお店を訪ねてほしい。きっとあなただけの素敵なギフトが見つかるはず。

(文 大和明日香 / 写真 小林茜莉、大和明日香)

しまくま堂
札幌市南区簾舞1条2丁目5-25
問い合わせ 090-5983-0395
営業時間 11:00~18:00
定休日 月~水曜、冬季
HPで販売有



ソビエト時代のレトロな切手や紙もの
300円~

刺繍ブラウス
(ルーマニア)
24,000円

蓋つきガラス瓶
(チエコ)
1,600円

刺繍ブラウス
(ルーマニア)
24,000円

民族衣装のチロルテープ
(チエコ)
1,200円



ガラスボタン
(チエコ)
680円



「しまくま堂」を初めて訪れる人の90%以上は必ず道に迷う。簾舞の山あいに密かに建つ板張りの古民家。ここはハンガリーやチエコなど東ヨーロッパのフォーケロアな手芸用品やヴィンテージ雑貨のお店。

おばあちゃんの家のような懐かしい雰囲気の店内には、あぶれんばかりの雑貨の数々が所狭しとディスプレイされている。可愛らしい人形や絵本、ボタンや生地など、秘密の宝箱の中に入つてしまつたような不思議な感覚に陥ることだろう。

「お店を始めたきっかけは、旅や雑貨が大好きだったから」と話す金野さんは、古着や雑貨はもちろん、コレクションしていた切手のデザインの素晴らしさから、もともと東ヨーロッパには興味を持つていたそう。今では年に数回、何か国も巡りごつそりと掘り出し物を見つけてくる。チエコスロバキア時代やソビエト時代の食器などのデザインには、日本の昭和レトロに通じる懐かしさがある。

「しまくま堂」はネットでの販売にも力を入れており、とても見やすくデザインされたHPからも商品の購入ができる。でも、迷うこと覚悟でぜひこの秘密の宝箱のようなお店を訪ねてほしい。きっとあなただけの素敵なギフトが見つかるはず。

(文 大和明日香 / 写真 小林茜莉、大和明日香)

ソビエト時代のレトロな切手や紙もの
300円~

刺繍ブラウス
(ルーマニア)
24,000円

蓋つきガラス瓶
(チエコ)
1,600円

刺繍ブラウス
(ルーマニア)
24,000円

ちょつとリッチな
ショートケーキ

CAFÉ de ROMAN

カフェ ドロマン

札幌市南区藻岩下2丁目2-47

問い合わせ 011-588-2121

営業時間 11:00 ~ 23:00

定休日 水曜

藻岩ショートケーキ
168円(税込)



藻岩下2丁目にある「CAFÉ de ROMAN」。おまん亭出身の店主が3年前にオープンし、夜11時までカフェ・スイーツ・食事を楽しめるお店だ。ショートケーキには季節の果物が使われた色鮮やかなケーキなどが10種類以上並ぶ。

藻岩山にちなんだ「藻岩ショートケーキ」がプレゼントに一番人気。一般的なショートケーキと異なり、四角い形と表面にかけられたチョコレートが特徴。ナイフで切るとチョコレートがキツ、生地はサクッ、中のカスタードクリームがトロッ、とあふれる。価格は税込み168円とリーズナブルだ。

店内にはテーブル席に加え、大きなソファーが4つ置かれた個室もあり、家族連れもゆったりとした時間を楽しめる。森の香りが漂うテラス席もおすすめ。細かなところまで注文を聞いてくれるオーダーメイドのデコレーションケーキや、お店で手作りしているペーパーフラワーなどのギフトも必見だ。

J·glacée

ジェイ・グラッセ

札幌市南区定山渓西4丁目356

問い合わせ 011-598-2323

営業時間 9:00 ~ 18:00

定休日 無休

(仕入れ状況・イベントにより変動有)

アップルパイ
410円(税込)



お店に入ると明るい笑顔の店員さんがお出迎えてくれる。「お客様にゆつたりとくつろいで欲しい」という願いからカフェスペースは靴を脱いで利用する。テーブル・椅子・床などに木材がふんだんに使用されたカントリー調の空間には、定山渓温泉ならではのゆつたりとした時間が流れていた。

お店の中には広がつてくる。
このページは啓北商業高等学校の授業「広告と促進販売」を受講する11名の高校生とのコラボページです。私達SAN+のメンバーも授業に参加し、記事づくりについて説明しました。生徒さん達は取材先選び、アボインメントから始まり、取材、記事づくり更には写真撮影までを担当しています。

家族で食べたい まんまるパンケーキ

パンケーキcafe
あいあん

※パンケーキ単品は600円(税込)

プレーンパンケーキ
フルーツ、ソース付き
700円(税込)



地下鉄澄川駅からほど近い場所にある「パンケーキcafe あいあん」。パンケーキをテイクアウトできる珍しいお店だ。店主は以前、横浜で鉄板料理のお店を開いており、店名の「あいあん」も鉄板の鉄(iron)から名付けられた。

パンケーキをテイクアウトできる珍しいお店だ。店主は以前、横浜で鉄板料理のお店を開いており、店名の「あいあん」も鉄板の鉄(iron)から名付けられた。

食材にこだわり、卵、バター、牛乳、小麦粉は道産のものを使用する。注文を受けてから1枚1枚丁寧に焼き上げ、ティクアウト専用のランチボックスに入ってくれる。右側半分には3段のまんまるでフワフワなパンケーキ、左側にはたっぷりの生クリームにソースがかけられ、カナダ産のメープルシロップと果物の付け合わせも入る。ソースは果物を使用した自家製のものとチョコレートから選べる。

店内用のメニューには、特製煮込みハンバーグやチーズオムレツなどとセットになったそば粉入りの食事用パンケーキと、トッピング用のアイスやチーズクリームが入ったスイーツパンケーキが用意されている。他にも見応え食べ応え十分なオムライスやキーマカレーなどの洋食メニューも充実している。

スイーツで

幸せの おすそわけ



啓北
商業
×
SAN+

六花文庫



五輪通から光塩学園女子短期大学のある角を曲がると見えるのは、ツタに囲まれた素敵な建物。元々、この建物は六花亭の真駒内店だったが、2004年に「六花文庫」として生まれ変わった。



広々とした読書スペース。ゆっくり落ち着ける空間になっている。

コーヒーは300円、おかわり自由。六花亭のお菓子も1つづいてくる。



六花文庫の特徴はその静けさ。BGMもなければ、おしゃべりの声も聞こえない、読書に特化した空間が広がっている。喫茶店ではないけれど、図書館とも違う、静かで落ち着いたこの空間を、自分の書斎のように感じている常連さんもいる。

蔵書は約8000冊。小説、エッセイ、歴史、雑誌、絵本などジャンルこそ幅広いが、そのどれもが「食」に関係した本だ。どんなに人気でも、流行がすぐに過ぎ去ってしまうような本にはあえて手を出さず10年先、20年先まで読まれる本を選んでいる。

六花文庫の特徴はその静けさ。

BGMもなければ、おしゃべりの声も聞こえない、読書に特化した空間が広がっている。喫茶店ではないけれど、図書館とも違う、静かで落ち着いたこの空間を、自分の書斎のように感じている常連さんもいる。

本と人との一期一会

六花文庫では年に2回「本のばくりっこ」というイベントが開かれる。「ばくりっこ」は北海道弁で「交換しあう」という意味。その名のとおり、自分が持つて行つた本の冊数分、誰かが持つてきた本と交換できる。本のランナップは時間によって変化するため、まさに本と人が意外な出会いをする「一期一会」のイベントになつている。次回の開催はツタの紅葉時期で10月か11月を予定。

(文 山野茉里奈／写真 鐘下拓人)



札幌市南区真駒内上町3丁目1-3
問い合わせ 011-588-6666
営業時間 11:00 ~ 16:00
開館日 4月~10月 火~土曜
11月~3月 水~土曜
定休日 年末年始
イベント時、入館できない場合有

見えた。五輪通から光塩学園女子短期大学のある角を曲がると見えるのは、ツタに囲まれた素敵な建物。元々、この建物は六花亭の真駒内店だったが、2004年に「六花文庫」として生まれ変わった。

「食べ物の中にはね、世界があるんだ」。身近な食べ物の中にも隠れた世界が潜んでいた。いつもの食卓がきらきら輝いて見えるだろう。

全編が食べ物の詩集。たとえば料理のつくり方から始まる詩。その料理が食べたくなつてくるほど美味しいそうにつづかれている。しかし、そこから物語が広がり、全く予想のできなかつた結末にたどりつく。次の食べ物にはどんな話があるのだろうと、わくわくした気持ちでページをめくつた。



でも、空腹には耐えられない。たった70円だもんいいよねって。安いって美味しいにもつながるし。

「食卓一期一会」
長田弘著
読書の時間



1987年 晶文社

訪れた人の中には、赤ちゃんを連れたお母さんも。あまりに静かなので赤ちゃんはすぐに眠りつく。お母さんはほっと一息、のんびり読書にとりかかる。

家で読書をしようと思つても、誘惑が多くてなかなか集中できないという人は、一度六花文庫を訪れてみては。コーヒーを飲みながらゆっくり読書を楽しむという充実した時間を発見できるかもしれない。

静かな「食」のアーカイブ



訪れた人の中には、赤ちゃんを連れたお母さんも。あまりに静かなので赤ちゃんはすぐに眠りつく。お母さんはほっと一息、のんびり読書にとりかかる。

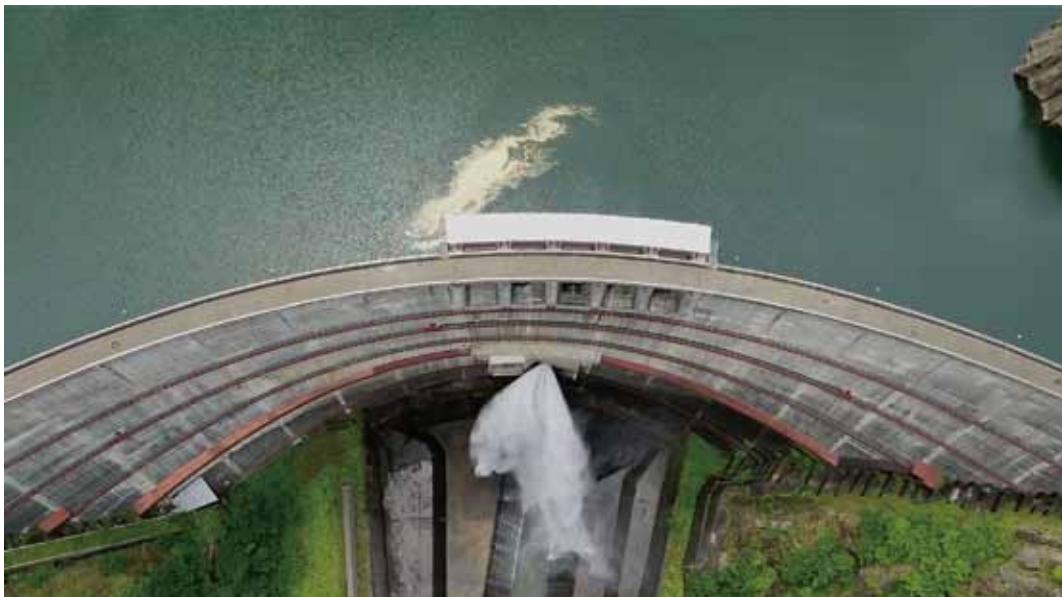
読書の時間

札幌市民の憩いの場、国営滝野すずらん丘陵公園。6月23・24日の2日間にわかつてアーティストSEKAI NI OOWARIの野外コンサートが開催された。その会場に、南区をアピールするユニークなブースがあつたことを存じだろうか。

南区の新たな試み

南区市民部地域振興課では、VR（バーチャル・リアリティ）を利用して、区の魅力を発信する「VR動画体験」のブースを設営。コンサート当日には多くの来場者を楽しませた。若手職員を中心に意見を出し合い、東海大学国際文化学部デザイン文化学科早川ゼミの撮影協力によって実現したこの企画。多くの候補地の中から撮影場所は豊かな自然と芸術文化の魅力が伝わる場所として、石山緑地、札幌芸術の森、豊平峡ダムの3か所が選ばれた。

5月21日から6月9日にかけて各所でドローン撮影が行われたが、苦労した点も多々あつた。ドローンにVR撮影が出来るデジタルカメラを載せての撮影。既製のキットが無いことから、技術者自ら機材に手を加える必要があり、6回もの試作を重ねてベストな形に近づけた。「安全性を確実にしつつ、カメラが揺れない工夫も大変だった。外に出られない方や身体の不自由な方に、是非見てもらいたい」とドローン技術者の山本由紀夫さん。同区地域振興課の三好貴大さんは「視点が変わると景色の見え方が全く違つてくる。普段見られない角度から風景を楽しめることが魅力」と撮影を振り返った。



公開された豊平峡ダムの映像

特集記事



南区VR

実際にVRを体験する来場者



賑わうVR体験ブース

「行つたことのある場所なのに、もつと身近に感じられた」。来場者の1人がそう話してくれた。VRは日常的に体験することのできない視点を伝えることができる。実際に現地に赴き、目で見るだけでは分からぬ隠された魅力。それを上手くVRというかたちで発信し、人々にインパクトのある体験として与える。若手職員のアイデアから生まれたユニークな試みは、南区の新しい「見方」を教えてくれた。（文・写真 佐々木夕夏）

VR体験者が首の傾きや身体の向きを変えると、映像も次々と変化。まるでその場にいるかのように景色を楽しめるのがVRの面白いところ。来場者はVRゴーグルをかけ、四方をきょろきょろと見回すことになる。そんなとも珍しい光景に人々が殺到、ブースは大いに賑わつた。来場者に特に人気があつたのは豊平峡ダムのVR映像。勢いよく水が噴き出すダムの様子を上空から見下ろせる。まるで鳥になつてダムの上を飛んでいるような感覚は非常にリアルで、怖さすら感じるほどだ。

異なる視点から



表紙撮影はシゼンド・フローレさんの前で

編集 発行

 東海大学

東海大学チャレンジセンター「地域連携プロジェクト」
〒005-8601 札幌市南区南沢5条1丁目1-1

東海大学札幌キャンパス
Tel 011-571-5111 Fax 011-571-6903

このフリーペーパーは、南区地域振興課と東海大学チャレンジセンターから支援を得て発行しています。

チ
編集後記



SAN+をお手に取っていただき、ありがとうございます。今号から、新たにメンバーが加入し、編集部屋が一層にぎやかになりました。そんな編集部の雰囲気をあらわすような今号のテーマが「ギフト」。ギフトっていろんな形がありますよね。大きかったり、小さかったり。食べ物だったり、思い出だったり…。喜びを伝えるなら、是非南区で。きっと素敵なお手軽ギフトがあなたを待っています。

Thanks! 本号も南区のたくさんの方にご協力頂きました。ありがとうございました!



安いしおいしい自分へのお手軽ギフト。同じく金欠中の友達にも渡して喜ばれるあつたかギフト。